

## N T T 労組、7年ぶりベア3000円要求 13日に正式決定

SankeiBiz 2014/1/7 08:15

N T T 労働組合（組合員約17万8000人）が2014年春闘で、平均3000円のベースアップ（ベア）を要求することが6日、分かった。N T T 労組がベアに当たる賃上げを要求するのは07年以来7年ぶり。経営環境の改善やグループ各社の業績向上を背景に、前年並みの特別手当4.5カ月分とは別に、連合の統一要求に沿った月額賃金の1%に当たる平均3000円の引き上げを要求する。

2月13日に開く中央委員会で正式決定する。

N T T 労組は07年春闘で月額賃金のベア2000円を要求したが、1人当たり約500円の成果・扶養手当支給で妥結。翌年からは固定通信事業の収益減や携帯電話事業の競争激化など経営環境の悪化を理由にベア要求を見送り、闘争方針の軸足を就労条件改善に移していた。

産業界の春闘要求をめぐっては、連合が昨年12月に5年振りに月額賃金の1%に当たるベア統一要求を表明。主要な企業労組も追随する姿勢をみせている。民間企業労組で最大のN T T 労組がベア要求に踏み切ることで、各企業労組のベア要求も相次ぐ見通しだ。

N T T 労組は持ち株会社のほか、東西地域会社やドコモ、データなどN T T グループ8社の企業本部で構成する企業労組。単一労組としては組合員約23万人の日本郵政グループ労働組合（J P 労組）に次ぐ規模で、民間企業労組としては最大。N T T の14年3月期連結業績見通しは売上高が1.1兆円（前期比2.8%増）、営業利益が1兆2300億円（同2.3%増）で、期末配当を10円増配する。